

## 防災・安全安心分野

目標 ～災害等に強く安全で安心な都市～

- ▶ 深刻な被害をもたらす自然災害や感染症などに対する備えとして、防災・減災、感染症対策と迅速な復旧・復興のための総合的な取組が強化されるとともに、危機管理に対する市民の意識や地域の対応力が高まった災害等に強い都市を目指します。
- ▶ 日常に潜む火災や事故、犯罪、トラブルによる市民の生命や財産への被害を最小限に抑えることができる、安全で安心して暮らせる都市を目指します。

## 【背景】

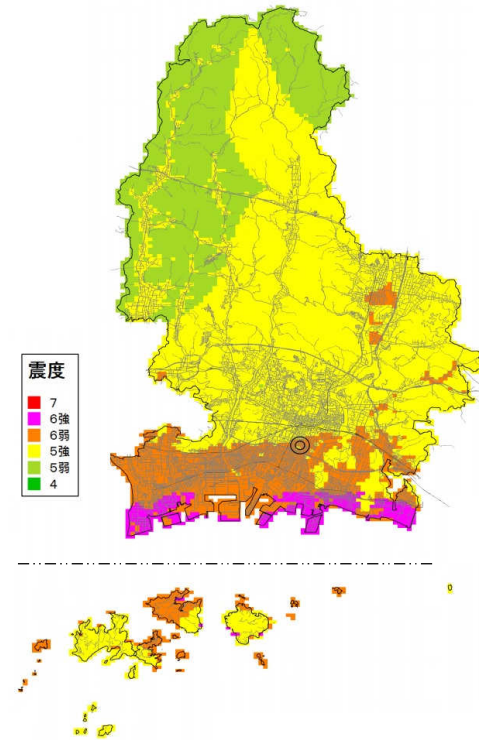
## (防災・減災、感染症対策関連)

- 市域が広く、海や山などの豊かな自然を有する本市においては、地理的特性に応じて、都市基盤の防災・減災機能や危機管理体制の強化を図ってきました。
- 近年、気候変動や都市化の進展に伴う豪雨災害や、台風、大規模地震などの自然災害による深刻な被害が全国各地で発生しています。本市においても、南海トラフ地震(※1)等の発生による大きな被害が想定されており、公助のみでは、そのような災害への対応が困難となることから、平時からの市民の意識啓発や、地域のつながりにより、自助、共助が効果的に機能することが求められています。
- 新型コロナウイルス感染症のような新たな感染症の拡大や、武力攻撃事態など市民の安全安心な暮らしを脅かす多様な事態が懸念されています。

## (安全安心関連)

- 火災や事故など、日常に潜む災害発生件数は、近年減少傾向(※2)にあるものの、新たな要因による火災や事故が発生しています。また、高齢化の進行等に伴い救急出場件数は増加(※2)しています。
- 交通事故発生件数に占める高齢者の割合が高くなるとともに、情報化の進展による特殊詐欺などの新たな犯罪やインターネットトラブルが増加しています。

※1 南海トラフ地震の被害想定



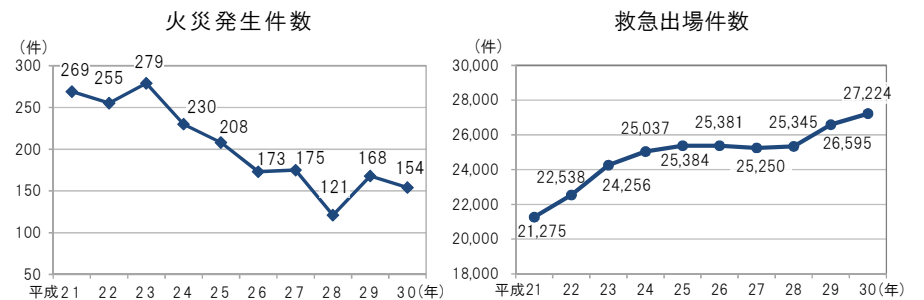
震度別面積率 (%)	震度7	0
	震度6強	3.2
	震度6弱	19.6
	震度5強	60.5
	震度5弱以下	16.7
災害津波水位(m)		2.5
浸水面積 (ha)	3m以上	0
	1m以上	32
	0.3m以上	134
	0.3m未満	142

被害情報	
建物全壊棟数(棟)	2,033
建物半壊棟数(棟)	15,133
死者数(人)	435
負傷者数(人)	2,767
重傷者数(人)	409
避難者数(1日後)(人)	9,139
帰宅困難者数(当日)(人)	17,965
断水人口(1日後)(人)	51,311
下水道支障人口(1日後)(人)	7,828
停電(1日後)(軒)	342

※冬 18時に発生した場合の被害想定

(資料) 兵庫県の地震・津波被害想定(南海トラフ) 姫路市

※2 姫路市の火災発生件数、救急出場件数の推移



(資料) 姫路市統計情報より作成